

スプレキユア

「これはとても良いお薬ですよ」

看護婦さんが穏やかにわたしの腹へ針を向ける
病室に教会のパイプオルガンがかすかに響く。

スプレキユア

妊活や、筋腫・子宮がん治療にぜひ

わたしは筋腫に

本当に月が重くて重くて

これで月のリズムを閉経させて、

いったん

二十年後のわたしの更年期へ強制的に平行移動。

女の冷静な満ち欠けを

注射のツーンと透明な、ヒヤッとする液の波で

女が年相応にたどる月齢の順番の向きを変える。

満ち欠けつつ産み出し死へ向かうベクトルと、

最短で死へ向かうベクトルとが拮抗する。

拮抗しすぎて脳が全くついて行かず、

わたしは前の薬で、いとこの存在を二人忘れた。

「きつと良く効く、良いお薬ですよ」

スプレキユア、

次はいとこを何人忘れるだろうか。

しかし月のリズムがなくなる本当の更年期に

これより物忘れがひどくないと

あまりに多くの死に毎日押しつぶされて

わたしの心が追いつかないかもしれない

今はその予習なのだ。